

立川浩之

- 立川浩之. 2006.6. 日本近海で採集されたセンスガイ科イシサンゴの1未記載属・種. 日本動物分類学会第42回大会. 東京海洋大学, 東京.
- 立川浩之. 2006.10. “非造礁性”イシサンゴとは何か. 第2回日本刺胞動物等研究談話会. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.
- Yamano, H., G. Cabioch, C. Chevillon, B. Pelletier, D. Chardon and H. Tachikawa. 2006.9. Modern carbonate sedimentary facies on the reef slope and island shelf around New Caledonia. International Society for Reef Studies European Meeting, Bremen. Bremen, Germany.

菊地則雄

- Cho, J.-H., S.-P. Kang, S.-J. Choi, N. Kikuchi, Y.-H. Jo, K.-J. Kim, and J.-A. Shin. 2006.10. Conchosporangia-maturation and conchospore-release of cultivated *Porphyras* (Bangiales, Rhodophyta). International Symposium Marine Algae & Global Warming. Seoul, Korea.
- Cho, J.-H., S.-P. Kang, S.-J. Choi, N. Kikuchi, J.-H. Park, S.-W. Park and J.-A. Shin. 2006.10. An ecological study of the genus *Porphyra* (Bangiales, Rhodophyta) in Yeosu, Korea. International Symposium Marine Algae & Global Warming. Seoul, Korea.
- Kikuchi, N., S. Arai, G. Yoshida and J.-A. Shin. 2006.10. *Porphyra miurae* sp. nov. (Bangiales, Rhodophyta) from Osaka Bay, Japan. International Symposium Marine Algae & Global Warming. Seoul, Korea.
- Fujiyoshi, E., N. Kikuchi and H. Ogawa. 2007.3. *Porphyra* in Southeast Asia. The 19th International Seaweed Symposium. Kobe, Japan.

- Niwa, K., A. Kato, A. Kobiyama, N. Kikuchi, H. Kawai and Y. Aruga. 2007.3. Genetic diversity and introgression in two cultivated species (*Porphyra yezoensis* and *P. tenera*) and closely related wild species of *Porphyra* (Bangiales, Rhodophyta). The 19th International Seaweed Symposium. Kobe, Japan.
- Kikuchi, N. and J.-A. Shin. 2007.3. Life history of *Porphyra kurogii* (Bangiales, Rhodophyta) in culture. The 19th International Seaweed Symposium. Kobe, Japan.

柳 研介

- 柳 研介. 2006.6. 相模湾産のイソギンチャク *Phyllactis excelsa* (Wassilieff, 1908) および *Phyllactis striata* Wassilieff, 1908 (Actiniaria: Actiniidae) の分類学的再検討. 2006年日本動物分類学会第42回大会. 東京海洋大学, 東京.
- 柳 研介・太田 秀. 2006.10. 本邦産の *Stylobates* 属イソギンチャク (イソギンチャク目:ウメボシイソギンチャク科) についての分類学的研究. 2006年日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会. 広島県産業技術交流センター, 広島県.
- 柳 研介. 2006.10. キンカライソギンチャクについて. 第二回日本刺胞動物等研究談話会. 千葉県立中央博物館分館海の博物館, 勝浦市.

村田明久

- 村田明久. 2006.12. クロフジツボの繁殖戦略. 白浜エボシ会. 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所, 和歌山県白浜市.

(4) 館外活動

海の博物館の研究員は、その専門性を活かして他機関等からの依頼により、外部委員を務めたり、講義などを行っています。18年度は次のような依頼に対応しました。

堀江義一

- 文部科学省大臣官房「カビ対策専門家会合」委員
千葉県環境学習アドバイザー
千葉大学真菌医学研究センター非常勤講師
新疆医科大学客員教授(中国新疆维吾尔自治区乌鲁木齐市)
哈爾濱医科大学客員教授(中国黒龍江省哈爾濱市)
日本菌学会評議員
日本医真菌学会評議員
第50回日本医真菌学会総会「優秀発表賞」受賞
第9回千葉大学真菌医学研究センター国際シンポジウム Organizing Committee
2006.9.31. 新疆医科大学講義「Molecular phylogenetics of the genus *Neosartorya* and new species」新疆医科大学, 中国新疆ウイグル自治区乌鲁木齐市).
2006.6.14. 環境アドバイザー講演「食物の安全性」八街市中央公民館, 八街市.
2006.7.29 環境アドバイザー講演「地球環境と食糧」印西市中央公民館, 印西市.
2007.1.20. 環境アドバイザー講演「地球環境を考える」習志野市谷津公民館, 習志野市.

川瀬裕司

- 日本魚類学会電子情報委員会委員長

立川浩之

- 日本刺胞動物等研究談話会幹事
独立行政法人国立科学博物館平成18年度相模灘調査外部委員

菊地則雄

- 環境省絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会植物Ⅱ分科会(藻類グループ)調査協力員

奥野淳兒

- 2006-2007年度日本動物分類学会選挙管理委員会委員長

柳 研介

- 日本刺胞動物等研究談話会幹事
東邦大学理学部非常勤講師

5. 事務室から

(1) 平成18年度の利用状況

本年度の当館の利用状況は下表の通りです。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開館日数	26	26	26	26	31	26	22	26	22	25	24	27	307
入館者数	6,342	10,504	4,501	8,165	18,882	5,313	4,333	4,537	2,454	4,830	4,896	6,466	81,223
個人	6,190	9,181	3,191	7,272	18,422	4,893	3,874	3,971	2,198	4,769	4,715	6,029	74,705
団体	152	1,323	1,310	893	460	420	459	566	256	61	181	437	6,518
学校団体件数	0	14	14	14	11	5	4	3	1	1	1	1	69

(2) 平成18年度の臨時開館・休館

千葉県 の 県立博物館は、毎週月曜日(休日の場合はその翌日)と年末年始を定期休館日としています。海の博物館では、右表の通り利用者が集中するゴールデンウィーク、夏休み期間中の定期休館日および年末・年始に臨時開館しました。

施設のメンテナンス作業などのため、5月9日、10月17日～20日、12月19日～20日、1月9日を臨時閉館日としました。

臨時開館日	入場者数
平成18年 5月 1日	399
平成18年 8月 7日	456
平成18年 8月14日	1,031
平成18年 8月21日	538
平成18年 8月28日	491
平成18年12月28日	171
平成19年 1月 2日	556
平成19年 1月 3日	628
平成19年 1月 4日	445
計	4,715

(3) 防災避難訓練



海の博物館では11月30日に津波に対する避難訓練を行いました。当館職員及び来館者だけではなく、勝浦海中公園センターとの合同により実施した訓練は初めてでした。事前の打ち合わせ、当日の避難放送等時間設定が困難でしたが、避難終了までにかかった時間は22分でした。なお、後日発生した千島列島沖地震による津波注意報時は、避難訓練が十分に役立ちました。快く訓練に参加していただいたお客様に感謝いたします。

(4) 博物館への手紙

「博物館への手紙」は、皆様からのご意見やご要望、海の生きものに関する質問などをお寄せいただく窓口です。展示ロビーに用紙と投函箱が備えてあり、お気軽に利用できるようになっています。

カレイとヒラメの区別がべん強になった。とてもよかったです。(8歳女性)

おみやげをおいてほしい。もっといろいろなものを展示してほしい。(12歳男性)

サメのコーナーを作って！魚の肌のところが一番たのしかった。音を聞くやつはマニアックすぎてうけた。(27歳男性)

おもしろいしかけなどがあって、おどろきが半分、楽しさ半分でした。できればまた家族で来たいです。(12歳男性)

ツチクジラが地元にいることを知らなかったです。マンボウはそうぞう以上に大きかったです。(9歳男性)

Very interesting displays - one of the nicest local natural history museums I have ever seen. The displays are easy to understand and have a lot of information - this is a wonderful place. (33歳女性)

海の風景写真がきれいでした。大きい貝はほんとに大きく、小さいものはほんとに小さく……。新発見がたくさんあっておもしろかったです。(無記名)

せっかく海があるのに、生きた魚やいきものがすくないです。(33歳男性)

コーラルプリントがやりたかったけれど、人数が多くてできなくてざんねんだった。(11歳女性)

マンボウの皮膚がザラザラだということがわかった。(23歳男性)

ガンガゼがふんをしているところをかんさつできてよかったです。わたしはガンガゼにきょうみをもっていただけからガンガゼがおもしろくてすきになりました。(8歳女性)

子供がまだ小さいのですが(5才)、子供なりに興味深げに見ていました。小学生になったらまた来たいと思います。(無記名)

2年前に、夏休みの研究で当時小4の子供がアサリのことを調べ、質問させていただきました。メールでのやりとりになりましたが、ありがとうございました。今日こちらに見学に来られてよかったです。(12歳男性の母)

骨などを見ていると、ヘビの形に見えたり、鳥の形に見えたりして面白かったです。(無記名)

海中の生物に限定されすぎているのでは？時節柄、プレートテクトニクス、大地震の原因等にも触れられてはいかがでしょう。(71歳男性)

点字表記がないのが残念でした。視覚障害者が海のことを理解しやすいような工夫があればもっと楽しめると思います。(29歳女性)



我が国では財政的に、博物館を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。海の博物館も同様ですが、調査・研究で得られた知見を展示、教育普及に還元する基本をしっかりと守り、これまで以上に楽しく海の環境を学べる博物館になるよう努力します。(堀江)

自然環境に恵まれた博物館に勤務して5年が過ぎました。波の音を聞きながら仕事ができることを幸せに感じ、癒されている毎日です。最近、独り言が増えたことに気づき、一人で苦笑しています。新しい出会いを期待して、これからもマイペースで進んでいきたいと思えます。(近藤)

今年は、分館海の博物館と中央博物館に勤務させていただきました。千葉県立の博物館はこの他に4館あります。まだ、ご覧になっていない博物館がありましたら、ぜひご覧ください。(石田)

千葉県に入り14年になりました。海の博物館の開館に向け、用地から始まり設計、建築工事、開館に6年がかかりました。開館して8年、1から始めた海の博物館の魚類標本は1,290種、約140,000点を収集することができました。このうち千葉県産は622種、約6,900点です。房総半島周辺から約1,400種の魚

類が記録・確認されています。博物館の資料収集活動の必要性をあらためて感じました。(藍澤)

海の博物館が開館して8年が経過し、この間に、一通り全ての博物館業務を経験しました。また、今年度は、館の代表として、各種の館外の会議にも出席する機会が増えました。最近では、良い意味で仕事に慣れ、新たな取り組み対しても、焦りや不安を覚えずに対処できるようになってきました。しかしながら、実務においては、締切やノルマとの狭間で、日々焦りながら仕事をしています。(乃一)

今年度は、外部からの講演依頼や高校との連携講座、職場体験の受入など、普及活動でたいへん忙しい1年間でした。私自身、たいへんよい勉強をさせていただきました。(川瀬)

この一年ほどは、ウミウシの観察ノートとデータ集の作成、収蔵資料展「大きい貝・小さい貝」の担当、寄贈していただいた貝類標本リストの編集と、すっかり貝づくしの日々でした。来年は本来の研究テーマのサンゴに戻りたいのですが…。(立川)

マリサイ「アサクサノリ展」も終了まであと少し。ノリのことを少しでも理解

していただけましたならば幸いです。(菊地)

今年度はヒラムシにとり憑かれ、ひたすら石をめくって探していました。ヒラムシの分類学的研究は遅れているため、調査のたびに学術的価値のある標本が得られ、大満足。(奥野)

今年度は4名の職員が海の博物館を離れることになりました。いずれも経験豊かで実績のある職員でした。このうち研究職員が1名退職となりますが、原則不補充ということで、結果1名の減員となりました。残されたものとして、今後の博物館のあり方をよくよく考えていかなければならないと感じています。(柳)

昨年度に引き続き、今年度もいろいろありました。来年度もいろいろありますので、しっかりしようと思います。(村田)

博物館の敷地内でサルとイタチとイノシシに出会いました。海だけでなく、山の自然も豊かです。(高梨)

海博に来てまだ1年しか経たないのに、不思議と何年も前からここにいる気がしています。それだけ、なじみやすい博物館なんだと思います。(山岸)

職員の異動

平成18年4月1日

石田正和(副主査)転入(東上総教育事務所)
山岸さゆり(体験学習指導員)新規採用

平成19年3月31日

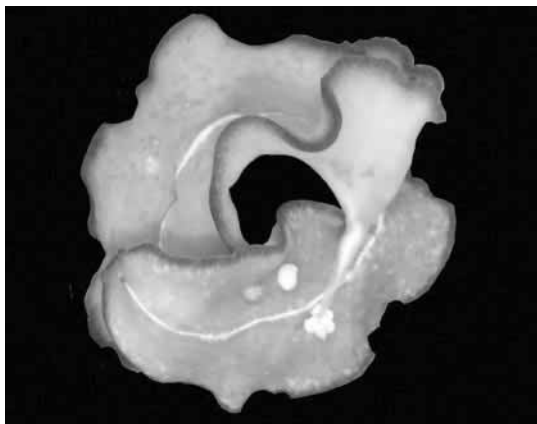
堀江義一(分館長)退職再任用(千葉県立中央博物館)
近藤佳純(主査)転出(千葉県立木更津東高等学校)
藍澤正宏(上席研究員)(宮内庁)
高梨真由美(体験学習指導員)退職

平成19年度の行事案内

(1) 平成19年度 マリンサイエンスギャラリー

オスメスの不思議－海動物の世界から－

平成20年2月23日(土)～平成20年5月6日(火・休)



メスの方がきれい？オスの方が大きい？生まれた時からオスとメスは決まっている？生きものたちの世界はそうとは限りません。オスの方が派手な動物。メスの方が大きい動物。性転換する動物。同時にオスでもメスでもある動物。種類によって、実に多様なオスとメスの姿があるのです。平成19年度マリンサイエンスギャラリー「オスメスの不思議」では、海の動物たちのさまざまなオスとメスを紹介し、その不思議について考えてみます。

*マリンサイエンスギャラリーは、毎年異なったテーマで海の生きものを深く掘り下げて紹介する企画展示です。

(2) 千葉県立安房博物館・千葉県立中央博物館分館海の博物館 合同巡回企画

くろしおと漁撈文化

平成19年7月14日(土)～9月2日(日)



千葉県は、黒潮の影響を受け、温暖で暮らしやすい土地です。当地においては、約1万年前から、漁業の痕跡が認められ、太古の人々も黒潮とかかわりを持った生活を営んでいたことがうかがい知れます。この展示では、千葉県立安房博物館と千葉県立中央博物館分館海の博物館が協力して、黒潮と漁撈文化について紹介します。

(3) 講座・観察会

観察会

実施日	実施日	実施日	内容	定員	対象
H19. 4. 29(日)	10:00～15:00	春の鶴原理想郷で植物を観察しよう	風光明媚な鶴原理想郷を散策しながら、春の植物を観察します。	15	一般
H19. 5. 3(木・祝)	10:00～15:00	海藻を観察しておしぼを作ろう	磯で見られる色とりどりの海藻を観察し、海藻おしぼを作成してみましょう。	20	小学生以上(※)
H19. 5. 5(水)	11:00～15:00	ウミウシを観察しよう	人気の高いウミウシの観察会です。カラフルで可愛いウミウシを探して観察してみましょう。	20	小学生以上(※)
H19. 6. 17(水)	11:00～13:00	親子で磯の生きものを探そう	魚やカニ、貝など、磯にくらす色々な生きものを親子で観察します。	20	小学生(保護者同伴)
H19. 7. 15(木)	10:00～12:00	海辺にエビやカニを訪れる会	平磯で、エビやカニなどの甲殻類を探してみましょう。何種類見つけられるでしょうか？	20	小学生以上(※)
H19. 8. 4(日)	10:00～13:00	水中メガネで海の生きものを観察しよう	水中メガネやシュノーケルの使い方を学び、安全な場所で生きものを観察します。	20	小学生以上(※)
H19. 10. 7(土)	10:00～15:00	秋の鶴原理想郷で植物を観察しよう	風光明媚な鶴原理想郷を散策しながら、秋の植物を観察します。	15	一般

*小学生は保護者同伴

講座

実施日	時間	タイトル	内容	定員	対象
H19. 7. 28(土)	11:00～11:30, 13:30～14:00	海の生きもののオスとメス	海の生きもののオスとメスのさまざまな形を紹介します。		一般(当日申込)
H19. 8. 5(日)	13:00～15:00	親子で魚拓を作ってみよう	魚の体のつくりを学びながら、魚拓づくりにチャレンジします。	20	小学生(保護者同伴)
H19. 8. 18(土)	13:00～15:00	海の生きもの実験講座	ヤドカリの引越やヒトデの脱出など、室内で簡単な実験・観察を行います。	20	小学生(保護者同伴)
H19. 8. 26(日)	11:00～11:30, 13:30～14:00	南房総の海で繁殖する魚たち	さまざまな魚の繁殖行動を、映像を使って紹介します。		一般(当日申込)
H20. 3. 29(土)	13:00～15:00	オスとメスの不思議	マリンサイエンスギャラリーにあわせ、オスとメスの不思議を紹介します。	20	一般

(4) 磯・いそ探検隊・博物館探検隊・タッチプール

磯・いそ探検隊

実施日	時間	定員
H19. 5. 4(金・祝)	10:45～11:15、11:45～12:15	各15
H19. 5. 6(日)	11:45～12:15、12:45～13:15	各15
H19. 7. 14(土)	10:00～10:30、11:00～11:30	各15
H19. 7. 16(月・祝)	10:45～11:45、12:00～13:00	各15
H19. 8. 12(日)	10:00～11:00	15
H20. 3. 23(日)	11:00～12:00	15

博物館探検隊

実施日	時間	定員
H19. 4. 28(土)	10:00～10:30、13:00～13:30	各15
H19. 8. 11(土)	10:00～10:30、13:00～13:30	各15

タッチプール

実施日	時間	定員
H19. 5. 14(火)	11:00～、11:30～、13:00～、13:30～	各10
H19. 5. 15(水)	11:00～、11:30～、13:00～、13:30～	各10
H19. 7. 16(木)	11:00～、11:30～、13:00～、13:30～	各10

(5) 海の体験コーナー

各日とも11:00からと13:30からの1日2回、約20分間開催します。また、上記の予定日以外にも開催することがあります。体験メニューの内容は毎回変わります。詳細につきましては、博物館までお問い合わせください。

4月	H19. 4. 14(土)	H19. 4. 21(土)	
5月	H19. 5. 12(土)	H19. 5. 26(土)	
6月	H19. 6. 9(土)	H19. 7. 23(土)	
7月	H19. 7. 7(土)	H19. 7. 21(土)	
8月	H19. 8. 4(土)	H19. 8. 8(水)	H19. 8. 25(土)
9月	H19. 9. 8(土)	H19. 9. 22(土)	

10月	H19. 10. 13(土)	H19. 10. 27(土)
11月	H19. 11. 10(土)	H19. 11. 24(土)
12月	H19. 12. 8(土)	H19. 12. 22(土)
1月	H20. 1. 12(土)	H20. 1. 26(土)
2月	H20. 2. 9(土)	H20. 2. 23(土)
3月	H20. 3. 8(土)	H20. 3. 22(土)

お申し込み方法

講座と観察会

ひとつの行事ごとに1住所、2氏名、3電話番号、4年齢、5ご希望の行事名を明記の上、ハガキまたはFAXにて、行事開催日の二週間前までに海の博物館あてにお申し込み下さい(ロビー受付でもお申し込みいただけます)。なお、お申し込み多数の場合には抽選とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。また、定員に満たない場合は、随時受付を行いますので、お問い合わせ下さい。

磯・いそ探検隊、博物館探検隊、タッチプールツアー

当日先着順に受け付けます。開始時刻の10分前までにロビー受付で手続きを済ませてください。なお、定員となりしだい受付を締め切らせていただきますので、ご了承ください。

海の体験コーナー

定員はすべて6名で、定員をこえた場合はその場で抽選となります。定刻になりましたら、展示室カウンター前にお集まりください。体験メニューの内容は毎回変わります。詳細につきましては、博物館までお問い合わせください。

(6) 海の環境学習研修会

学校の先生を対象とした研修会です。平成19年度も、県総合教育センターと共催で開催しますが、日程を7月31日(火)・8月1日(水)の2日間、定員20名とし、例年よりも専門的な内容で実施する予定です。申込み・詳細については、総合教育センターの研修案内をご参照下さい。ご参加をお待ちしています。



ご利用の案内

開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日 毎週月曜日(ただし月曜日が休日に当たるときは翌日です)

*その他に臨時開館・休館があります。

詳しくは下の連絡先までお問い合わせ下さい。

入館料 一般: 200円

高校生・大学生: 100円

中学生以下・65歳以上: 無料

障害者およびその介護者: 無料

駐車場 午前8時30分～午後5時15分(年中無休、入車は4時15分まで)

*夏期時間延長あり

駐車料金 普通車 2時間まで200円、以後1時間ごとに100円

大型車 2時間まで600円、以後1時間ごとに300円

交通 *電車・バスをご利用の場合

・J R外房線鶴原駅から徒歩15分

・J R外房線勝浦駅から小湊鉄道バス興津経由「松野」行き「吉尾入口」下車、
徒歩約12分

・J R外房線勝浦駅から小湊鉄道バス「海中公園・海の博物館」行き終点下車、
徒歩0分(土曜日・日曜日、祝日のみ)

・J R外房線勝浦駅からタクシーで約10分

*車をご利用の場合

・千葉市からR16(市原), R297(大多喜), R128(勝浦)を使って約2時間

・東京湾アクアラインから館山自動車道R409, R297, R128を使って約1時間半

・館山市からR128(鴨川)を使って約1時間半

・銚子市からR126(東金), R128(勝浦)を使って約3時間

平成18年度 千葉県立中央博物館分館海の博物館 ニュースター「いそっぴ通信」No.8 平成19年4月1日発行

ちば

編集・発行 千葉県立中央博物館分館海の博物館

〒299-5242 千葉県勝浦市吉尾123 電話 0470-76-1133 FAX 0470-76-1821

e-mail: umihaku@chiba-muse.or.jp URL <http://www.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/index.htm>